

図 版

平成22年度



主棟（中央棟）全景 南東より



主棟（北棟）全景 東より



主棟（北廊下玄関棟）全景 西より



主棟（北廊下玄関棟）玄関内部 北より



主棟（中央棟）御所車の間 北西より



主棟（中央棟）鶴の間 北東より



主棟（中央棟）次の間～鶴の間 北西より



主棟（中央棟）松の間 南東より



主棟（中央棟）春蘭の間～次の間 北西より



主棟（中央棟）春蘭の間 南西より



主棟（中央棟）下女中部屋 南東より



主棟（北棟）菊の間 南西より



主棟（南廊下棟）竹の間 外部 北西より



主棟（南廊下棟）竹の間 南東より



主棟（南棟）全景 北西より



主棟（南棟）雉子の間 北東より



土蔵（東）全景 南東より



土蔵（東）・土蔵（西）全景 北西より



土蔵（西）二階内部 南西より



土蔵（東）二階内部 北東より



離れ座敷 縁・庇廻り 北より



離れ座敷 玄関・手水 南西より



離れ座敷 全景 南より



離れ座敷 全景 東より



離れ座敷 床の間～茶室 北西より



離れ座敷 茶室 北西より



梅見門 全景 南東より



腰掛 全景 東より



表門 正側面全景 北西より



表門 背側面全景 南西より



四阿 全景 西より



四阿（主棟を望む） 北東より



正面



左斜側面



右斜側面



左侧面



右侧面



頭部正面



背面



頭部右斜側面



頭部左斜側面



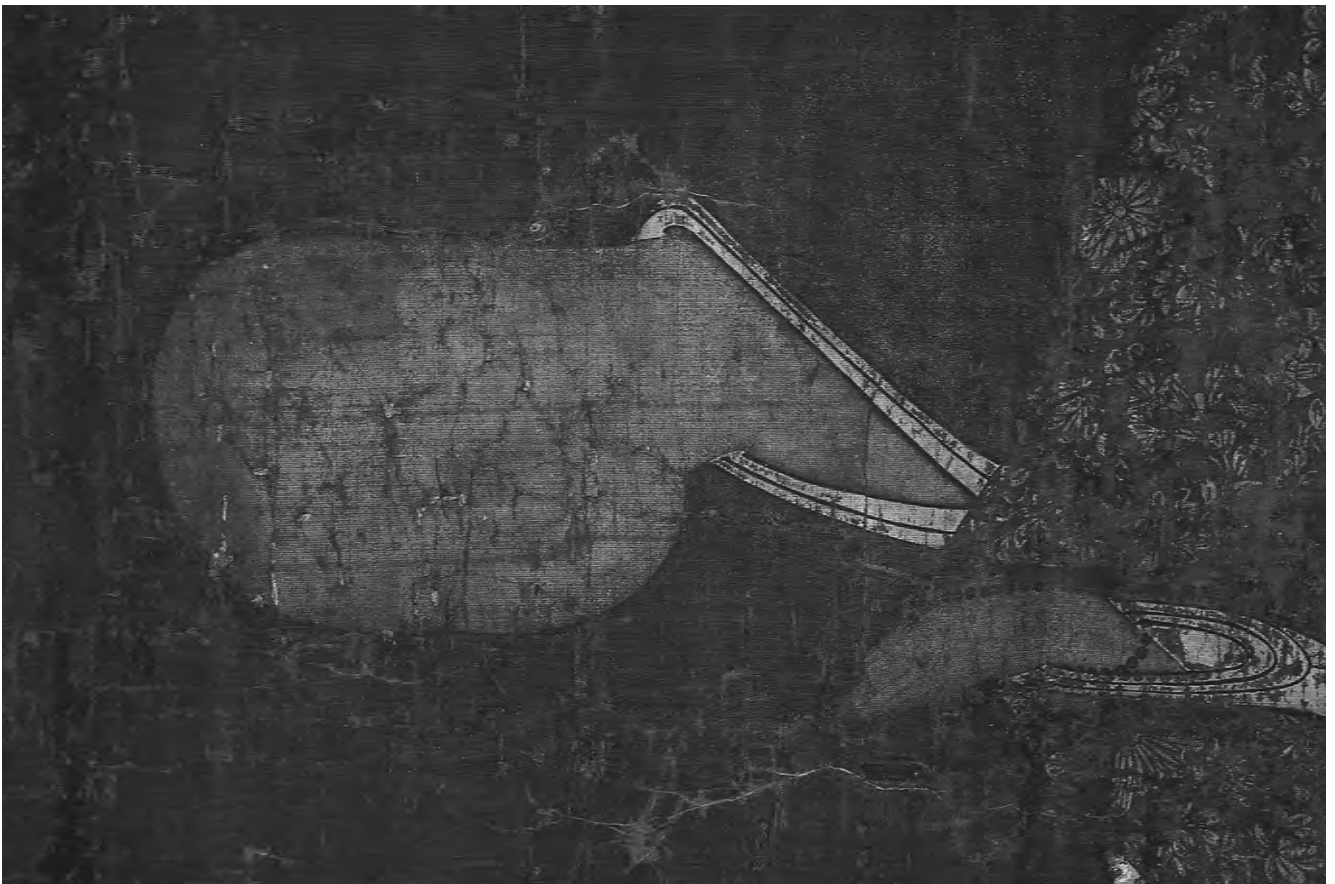
頭部右側面



頭部左側面



絹本著色中将姫像





画面上部の色紙形









卷第一 天文18年 (1549)



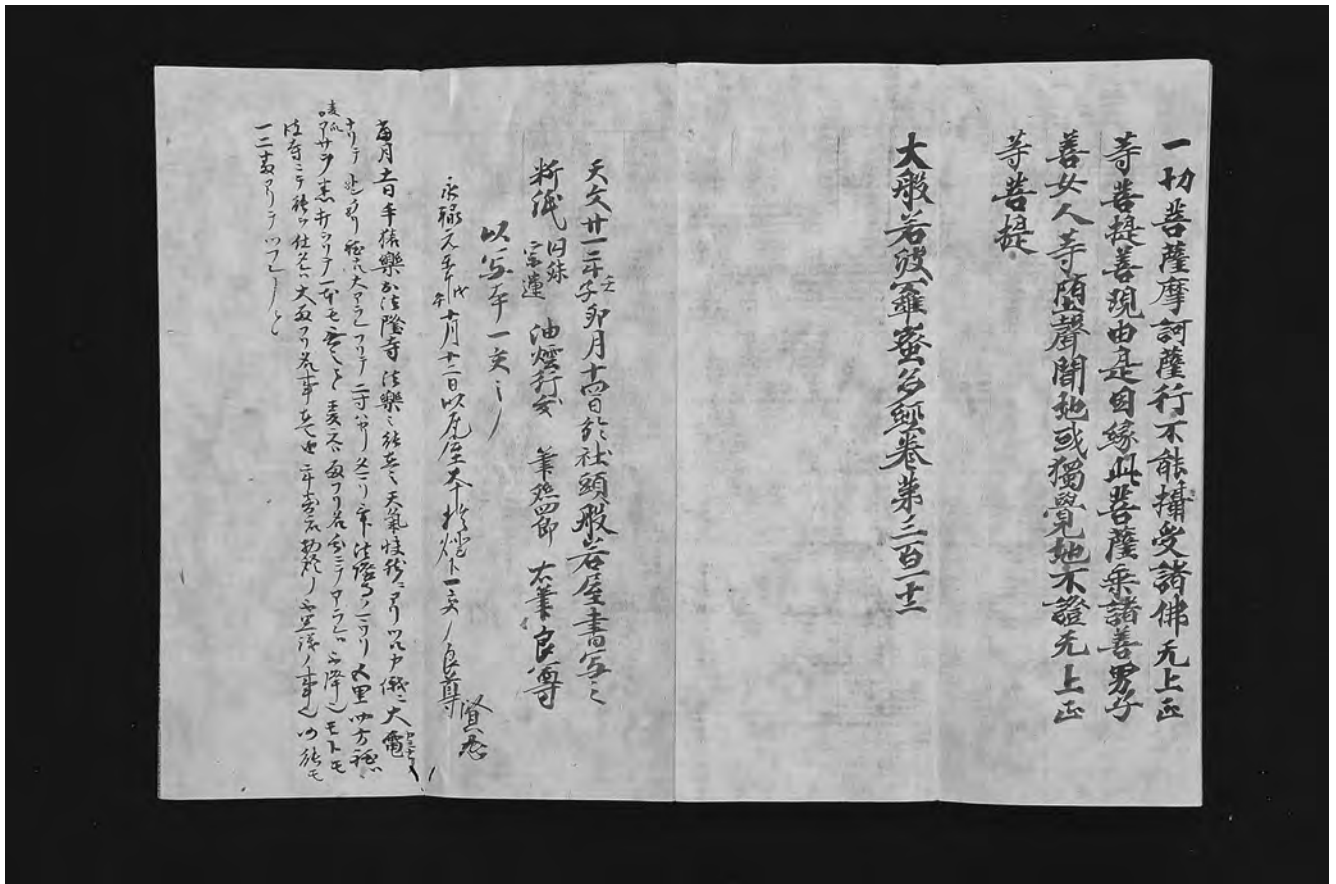
卷第四 天文18年 (1549)



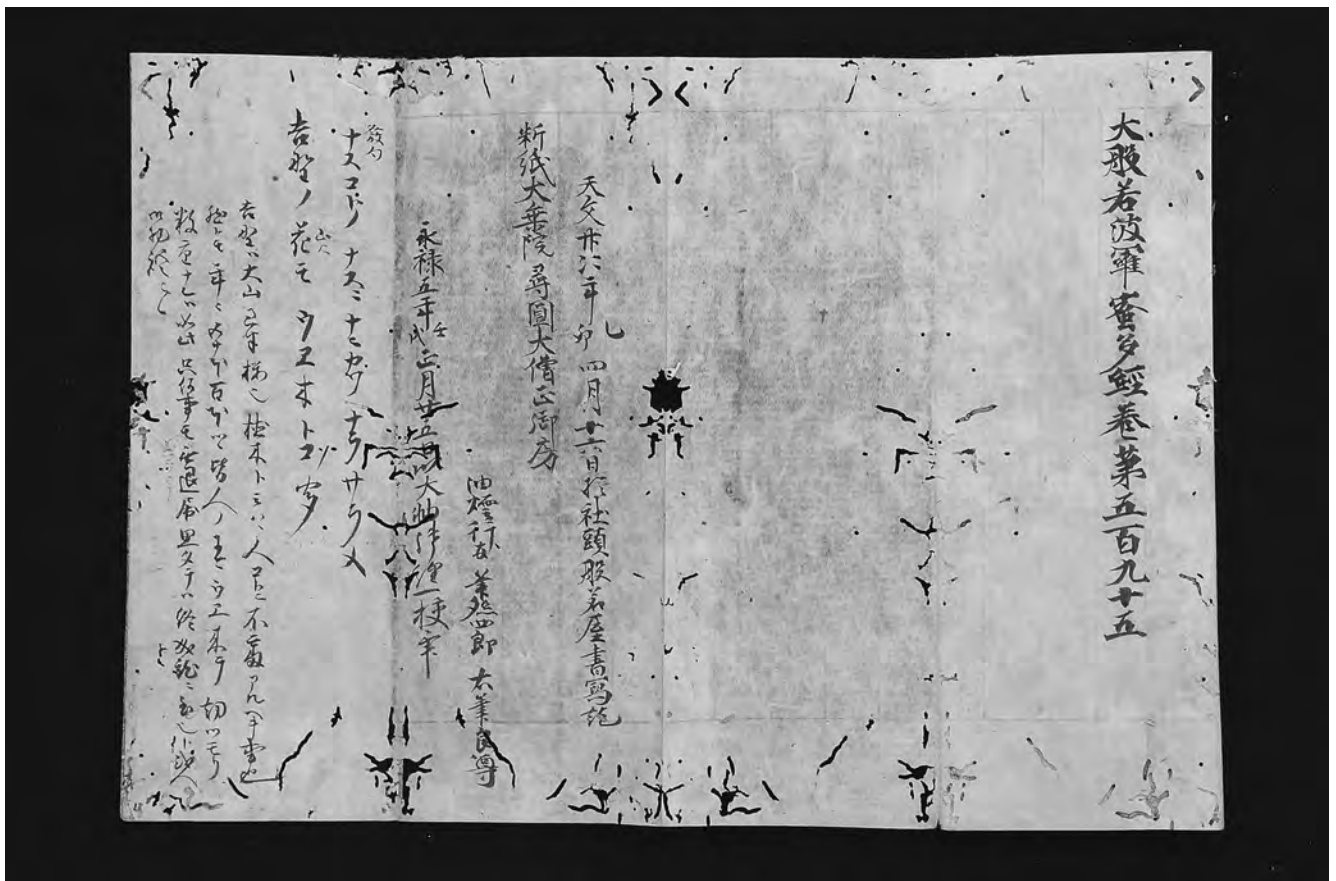
卷第三十三 天文 18 年 (1549)



卷第四十九 天文 18 年 (1549)



卷第三百十二 天文 21 年 (1752)



卷第五百九十五 天文 24 年 (1755)

說此法時无量无数菩薩摩訶薩得无生法
 悉復有无過諸有情類皆發无上正等覺心
 余時如來記彼法定當證无上正等菩提時
 薄伽梵說是經已善勇猛等諸大菩薩及餘
 四衆天龍藥叉健達縛阿素洛揭路荼摩捺
 洛漢等諸天人非人等一切大衆聞佛所說
 皆大歡喜信受奉行

大般若波羅蜜經卷第六百

西寺官先略 延定信
 天文廿四年四月廿七日利春日社般若堂書寫訖
 所依大衆院壽國大僧正御房 宗蓮
 其外諸緣面等
 油煙行公任了 兼慈即
 本寺良尊 賢志
 同五月三日奉供養畢

顯供養 誦回一經修 延壽法者
 若論頭理 重難在
 誦師英後長實坊 向者長胤善克方
 容胤繼者 頌嚴者 散花良博

卷第六百 天文 24 年 (1555)

大般若經卷第六百卷末

右為神恩報謝世四恩深寸三寶 誠生善教善
 陸終心念上至內院身非向法惠解開發 盡未米際利益
 業自他願經九山米也外撥世新委百念經三空諸天
 大般若經 卷第六百 卷末

奉書寫 大般若經一部 供養
 奉書寫 大般若經一部 供養
 奉書寫 大般若經一部 供養

室當室 奉書寫 大般若經一部 供養
 奉書寫 大般若經一部 供養
 奉書寫 大般若經一部 供養

札事 奉書寫 大般若經一部 供養
 奉書寫 大般若經一部 供養
 奉書寫 大般若經一部 供養

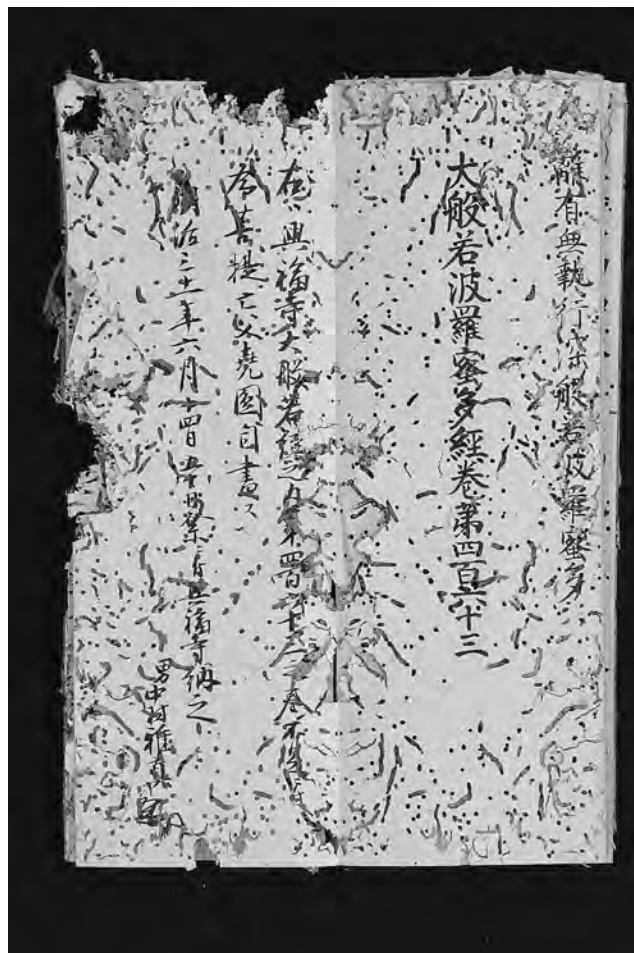
當室前机 脇机 啟室 禮聖壇 敬奉進也

永祿五年五月廿九日 大般若經卷第六百卷末
 相達施主 攝持侍殿 謹啟

卷第六百 卷末



卷第四百六十七 平安時代



卷第四百六十三 明治31年(1888)



經櫃





麦藁を束ねて2本の大松明を作る



麻殻を束ねて2本の火松明を作る



本殿より高座へ4基の神輿が渡御



御供上げ神事



大松明にゴムシ（御串）を突き刺す



ベンズリ舞



火出しが持つ火松明への点火



火取り行事



参拝者へ配られる火松明の麻殻